

国際理解講演会 ～在名古屋米国領事館 首席領事 アンナ・ワン様をお迎えして～

5月1日（木）第7限に、附属中学校1年生と高校国際探究科1年生、国際理解コース2年生とその保護者を対象とした、国際理解講演会が行われました。附属中学校設立と、高校国際探究科開設の記念行事として、在名古屋米国領事館の首席領事アンナ・ワン様にお越しいただきました。

講演会では、「テレビや映画の世界ではないリアルなアメリカをみんなに知ってもらいたい」ということで、ご自身のホームビデオを見せていただいたり、「外交官になぜなりたと思ったのか」や「国際的なリーダーとして何が必要なのか」について分かりやすく説明していただきました。「アメリカも広いが、もっと広い世界を見てみたい」という強い好奇心で外交官の道を選び、また、自分の希望を達成するには、「恐れず勇気を持って進み続け、自らの視野を広げる」という、ご自身の人生における姿勢も聞くことが出来ました。

高校生の時に日本語を学んだ経験や、昨年にな名古屋の領事館へ赴任するまでの経験などもお話しいただいたことで、大変気さくなお人柄がうかがえ、質問コーナーではたくさんの生徒たちから手が上がりました。

また、同行された広報企画調整官の田中 里佳様にも、大使館と領事館の違いや、留学にも様々な方法があることなどをお話しいただきました。

平日にもかかわらず、保護者にもたくさんご参加いただき、国際理解に対する意識の高さを感じました。



以下は、生徒たちの感想の抜粋です。

「常識にとらわれすぎず、『なぜ』『どうして』と問いかけることが大切」と言っていたのは、学校の授業でも疑問を大切にしているのと似ているなと思い、これからの授業に活かしていきたいなと思った。」(中学生)

「日本とアメリカは文化が違うが、本校が掲げる10の学習者像の『心を開く人』のように理解しあい、尊重しあうようにしたい。そして、将来は日本とアメリカの架け橋のような存在になれるようにしたい。」(中学生)

「周りの人たちの目や反応に振り回されず、勇気を持つことの大切さを身にしみて感じました。また、海外に係る仕事の視野がこの講演会によって広がり、調べたり考えるきっかけにもなりました。」(高校生)

国際探究科 大谷